

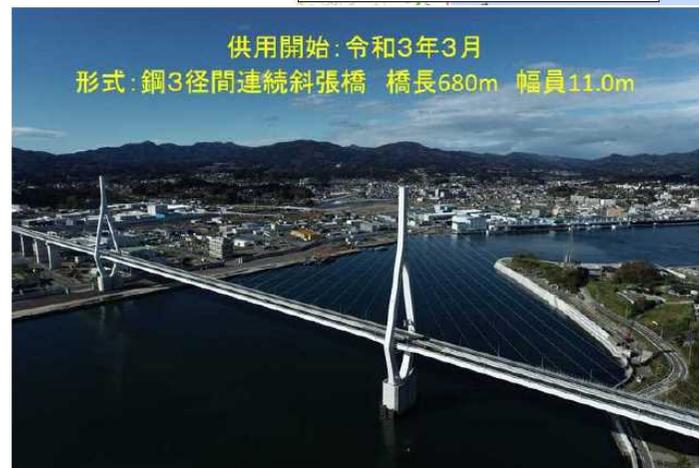
【点検支援技術講習】

気仙沼湾横断橋における点検支援技術を活用した定期点検(事例見学会)

日時：令和4年11月24日(木) 13時～15時
 場所：気仙沼湾横断橋P11橋脚
 対象：宮城県道路メンテナンス会議構成機関(22名)、報道関係者(8社) ※()内数字は、当日参加人数
 概要：気仙沼湾横断橋の初回点検の実施にあたり、点検支援技術を活用することで健全性の診断に必要な情報を効率的・効果的に取得することができ、点検の質の向上や省力化が期待できる点検の見学会(公開)

【気仙沼湾横断橋の概要】

開通：令和3年3月
 橋長：L=1,344m(海上部680m)



【点検支援技術の活用方針】

○部位・部材等に応じて様々な新技術を組み合わせるなどにより、点検の質の向上と効率化の両立を図る

- ・状態把握の質の向上かつ作業の効率化
⇒ケーブル一般部、定着部
- ・状態把握の質は確保しつつ作業の効率化
主塔(鋼製部分)、主桁
- ・記録作業の省力化(記録項目、方法の見直し)
⇒主塔、主桁

○橋梁等の構造や点検の目的に応じて、点検時に取得すべき情報をきめ細やかに整理することにより、橋ごとに点検を効率的に実施

●主塔外面	塗膜の状態に関する画像を取得する技術
●主桁外面	塗膜の状態に関する画像を取得する技術
●ケーブル一般部	ケーブル被膜の外観・傷の有無に関する画像を取得する技術
●ケーブル定着部	ケーブル定着部表面の状態を画像で取得する技術

<点検支援技術>



▲斜張橋斜材点検装置
コロコロチェッカー
(ケーブル一般部、
定着部)



▲超望遠レンズによる高層
構造物の外観検査技術
(主塔外面)



▲マグネット式全方位
点検ロボット
(主塔外面)



▲ドローン・AIを活用した橋梁点検・
調書作成支援技術
(主桁外面)